

永年の功績を讃えて

釧路市体育協会表彰式 8月24日(木)

功 労 賞 ^{わた} ^{なべ} ^{ひろし}
渡 邊 大 氏 (73歳) 釧路アイスホッケー連盟 総務委員長



昭和52年、草創期の釧路アイスホッケー連盟に加入。以来現在まで40年間にわたり、競技委員を皮切りに総務の中核として、連盟組織運営の「安定・充実・発展」に寄与され、関係団体との連絡調整及び大会運営に敏腕を振るっておられます。

とりわけ、アジアリーグの現地シリーズの際には、永年にわたり会場責任者としてアイスアリーナ内外の環境整備に万全の体制を整え、大会のスムーズな運営を実現されております。

近年では昨シーズンの「ながの銀嶺国体（ぎんれいこくたい）」において、北海道アイスホッケー連盟派遣の総務として北海道成年チームを掌握し、優勝を影から支えるとともに、同じく昨シーズン、「第8回冬季アジア競技大会」における札幌市開催のアイスホッケー競技会では、釧路アイスホッケー連盟派遣の総務係として従事し、重責を果たし切るなど、アイスホッケー競技の普及振興に大きな功績を残してこられました。

表彰式で釧路市体育協会張江会長は、会場の選手らに「皆さんのエネルギーが釧路のスポーツを盛り上げてくれている」と述べるとともに、渡邊氏にはその功績を讃えつつ、「これからもアイスホッケーの発展に一層のお力添えを」と挨拶しました。渡邊氏は、「これまでの経験を生かし、今後も広くスポーツ振興のため従事していきたい」と謝辞を述べました。

地域への貢献を誓う

釧路市体育協会 副会長 山 辺 文 彰

今年度の評議員会にて副会長を拝命し、併せてスポーツ少年団の本部長も仰せつかりました。

顧みるに体育を専攻していた大学生活一年時の1964年に東京オリンピックがあり、体育科の教員や仲間たちが、選手や補助員として参加している姿にオリンピックを見近に感じたのでした。

ハンドボールが専門で、高校生への指導とレフリーとして30有余年。又、協会の理事長として昭和63年より現在に至っておりますが、長年願ってきたことは「なんとかこの競技をメジャーなものに…」であります。現在、市内の高校のほとんど

にクラブがあり、小中学生を対象としたメーベン釧路が活動しております。

2020年の東京オリンピックに間に合わずとも、近い将来、日の丸を背負って活躍する選手が数多く輩出されますことを切望しております。

皆様のご指導を仰ぎながら地域に貢献していきたいと存じますので、どうか、よろしく願いたします。



釧路市秋季体育祭総合開会式

スポーツの祭典開幕 30種目に総勢6,000人

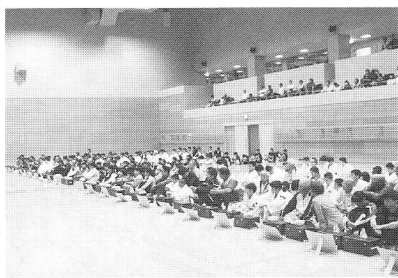
第72回釧路市秋季体育祭の総合開会式が8月24日（木）夜、「湿原の風アリーナ釧路」サブアリーナで行われました。

各競技の昨年度優勝チームの選手ら約230名が駆け付け、種目ごとに市長杯を返還し、優勝楯を受け取りました。

優勝杯の返還後、大会長である林義則教育長は「日頃の練習成果を存分に発揮し、競技を通じてスポーツを愛する仲間の輪を広げて下さい」と激励しました。

その後、参加者を代表して、釧路バウンドテニス協会所属の野村直樹選手、松野啓子選手両名が「これまで磨いてきた心、技、体を存分に発揮し、全力でプレーします」と力強く選手宣誓を行いました。見事な宣誓ぶりに、会場から大きな拍手が湧き起りました。

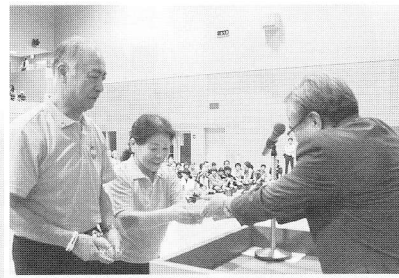
この体育祭は、軟式野球、ソフトテニス、卓球、バドミントンなど既に開幕した種目もありますが、多くの大会は9～10月に集中しており12月まで市内各地で熱戦が繰り広げられます。



開会式会場



優勝杯返還



優勝楯授与



大会長挨拶



選手宣誓

第74回国民体育大会冬季大会 スケート・アイスホッケー競技会

釧路市実行委員会設立

釧路市で9年ぶり4度目となる冬季国体は、平成31（2019）年1月30日から2月3日までの5日間、釧路市内の氷上設備でスケート競技会とアイスホッケー競技会が開催されます。札幌市開催のスキー競技は2月14日から17日までが開催期間です。

7月7日、この冬季国体の地元運営組織となる釧路市実行委員会の設立総会が開催されました。会則や委嘱委員、事業計画などが承認され、実行委員は総勢78名で今後の作業に当たります。

総会で会長に就任した蝦名市長は、釧路市での国

体が新たな元号となって初めて開催される国体であることを挙げ、「受け入れ環境を整えて盛り上げを図りたい。国体を通じた競技の底上げで氷都釧路の名を高めたい。」と述べました。

現在、冬季国体2019のテーマ、スローガン、シンボルマークを募集中。平成29年11月10日（金）まで。ふるって応募してください。詳細は釧路市ホームページをご覧ください。



雄阿寒岳「山の日」を終えて

鈿路山岳連盟

事務局長 播摩谷俊達



昨年から国民の祝日「山の日」となった8月11日、第2回「雄阿寒岳登山会」が開催されました。これは、「山の日制定」を記念して、ふるさとの山に登る取り組みを広める事業で、今年で2年目となります。

生憎にも前日からの天気予報は温帯低気圧による雨。参加者は、滝見口駐車場に参加者全員集合。天気の回復が思わしくない中、いよいよ頂上を目指して出発。三合目ではカップを装着し記念撮影。

雨はやんだり、降ったりの繰り返し。途中合流した本州からの一般登山客とは、互いに声掛けをしての励まし合い。急登の五合目からは息も絶え絶え。七～八合目を耐え抜き、ついに頂上到着。予定時刻を幾分過ぎてはりましたが、皆笑顔で満足感一杯の山登りとなりました。

鈿路山岳連盟は6つの団体からなる組織で、春と秋には「市民登山会」を一般市民登山愛好者へご案内しております。10月1日には秋季体育祭市民登山大会。阿寒富士からオンネトー秋紅葉の散策を計画中です。

これからも啓蒙活動として安心・安全登山について登山愛好者へ働きかけ、楽しく山に向かっていくことに取り組んでいこうと考えております。

世界大会・全国大会へ

鈿路地区バドミントン協会

会長 草島 守之



当協会の平成29年度登録数は小学生15団体136名、中学生38団体476名、高校生23団体417名、学生3団体31名、レディース連盟10団体36名、一般11団体222名、7月末現在100団体1,318名の会員数となっています。

主管主催大会は29大会で、北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会(11月450人)、北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会(1月350人)を湿原の風アリーナ鈿路、東北海道バドミントン選手権大会(2月460人)を鈿路町総合体育館にて開催します。

これまで長原茉奈美さん(楽羽)が第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン2017(トルコ)バドミントン女子シングルスにて銅メダルを受賞、阿部学斗さん(鈿路ジュニア)が第18回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会(札幌市)へ、鈿路工業高等専門学校が第41回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会(新潟県長岡市)へ、安東紗弥さん(北海道教育大学附属鈿路中)が第47回全国中学校バドミントン大会(佐賀県佐賀市)への出場を決めています。

柔道で、心身を鍛えよう!

鈿路柔道連盟

会長 菅原 賢司



現在、鈿路柔道連盟では、幼児から社会人まで525名の会員がおり、日々稽古を通し心身の鍛練に励んでいます。加盟団体も少年団からクラブチーム、実業団まで、

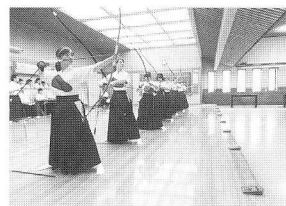
29団体、公認指導者も62名を有し、安全性を重視した基本柔道の指導法で、怪我や過激な指導に対する問題にも細心の注意をはらい取り組んでいます。

柔道とは、嘉納治五郎師範により考案され、その目的は、心身の力を最も有効に使用する原理と、それを実生活に生かすことにより、人間と社会の進歩と発展に貢献することとして、健全な人間の形成を目標にし、相手を思いやる心、礼節を重んじる精神を指導し、自己完成をめざす「道」として継承され、現在、全日本柔道連盟では、「礼節、自立、高潔、品格」を柔道MIND(マインド)として推進し、地区地域に広めております。日本の柔道は、世界のJUDOとして約200の国と地域で行われ、嘉納師範の理念を基に柔道に取り組んでいます。柔道が、健全な人を育て上げる「道」であることを、多くの方々の理解を戴き、一人でも多くの人が興味を持っていただければと思っています。

飛躍し続ける鈿路弓道

鈿路地方弓道連盟

事務局長 和田 吉功



本連盟は、昭和25年に組織されて以来、67年を数えることとなりました。高校は6校132名、大学は3校37名、一般は73名の総人数242名で活動しています。

主な活動場所は、鶴ヶ岱武道館を使用し、年末年始の休館日以外、それぞれの会員が朝から夜まで熱心に稽古に励んでいます。

連盟としては、昼(6月)夜(8・9月)の2回「初心者教室」を実施、会員増加に努めています。また、各種講習会・審査にも積極的に取り組み、今年は2名の錬士合格者を出すに至りました。

活動の成果は目覚ましいものがあり、高校の13年連続全国出場(インターハイ・全国選抜・国体)は特筆すべきものです。中でも平成25年の北九州高校総体では、鈿路北陽高校男子が団体7位に入賞する快挙を射止めました。また、一般も、全日本選手権・全国遠の大会・国体への出場を果たし、鈿路の弓道の実力を世の中に知らしめることとなりました。

弓道はよく生涯スポーツと言われます。老若男女が自分の体力に合わせて楽しめる競技です。是非興味がある方は弓道場に足をお運びください。

平成29・30年度 釧路市体育協会役員

平成29年度評議員会において、理事選出団体の選出及び専務理事の互選がなされました。その後、役員選考委員会による会長・副会長の原案提示がなされ、満場一致で推挙されました。

役職名	氏名	選出団体
名誉会長	清水 幸彦	バウンドテニス (名誉会長)
会長	張江 悌治	陸上(会長)、ソフトボール(名誉顧問)
副会長	栗林 定徳	スケート (会長)
副会長	北村 剛	阿寒支部 (支部長)
副会長	足立 功一	アイスホッケー (会長)
副会長	菅原 賢司	柔道 (会長)
副会長	山辺 文彰	ハンドボール (理事長)
専務理事	高橋 優夫	学識経験者
理事	早坂 勝則	阿寒支部 (副支部長)
理事	眞籠 敏夫	音別支部 (支部長)
理事	大道 裕昭	陸上 (理事長)
理事	染谷 友久	軟式野球 (理事長)
理事	中村 政男	ソフトテニス (副会長)
理事	山本 満	卓球 (理事長)
理事	朝木 忠行	バレーボール (理事長)
理事	金子 洋昭	バスケットボール (理事長)
理事	小野崎健悟	スキー (副会長)
理事	伊藤 寿章	柔道 (理事長)
理事	平田 政之	スケート (理事長)
理事	藤原 節男	剣道 (会長)
理事	三森 敏司	サッカー (理事長)
理事	坂本 久吾	ソフトボール (理事長)
理事	笹川 賢俊	ハンドボール (理事長)
理事	澤崎 晋司	アイスホッケー (理事長)
理事	谷口 秀生	バドミントン (理事長)
理事	福光 壽男	空手道 (理事長)
理事	松下 幸記	パークゴルフ (会長)
監査	橋本勢津子	弓道 (会長)
監査	佐藤 茂樹	ボウリング (副会長)
評議員	加盟団体から各1名 阿寒・音別支部から各2名	

釧路市柳町スピードスケート場
屋内総合スタジアムへ

建設から45年が経過した釧路市柳町スピードスケート場の屋内化について、釧路市体育協会は喫緊の課題として据え、実現に向けて協会全体で取り組んでいくこととなりました。

第3回理事会では、釧路スケート連盟がかねてから練ってきたこの構想について、同連盟の狩野副会長から説明がなされました。

単なる屋根掛けリンクにとどまることなく、多機能を有した施設総合スタジアムを建築することにより、競技・観戦環境の改善、競技力向上、他の競技種目との連携、国際レベルの大会誘致など、多くのメリットが期待されるそうです。

完成予想図が描かれた啓発リーフレットは、近日中には関係団体や体育施設に配布されます。

建設実現に向けた「はじめの一步」。スポーツの力で大きなうねりを巻き起こし、更なる具体的な取組へとつなげていくこととなります。



釧路市体育協会事務局 年末年始の休日変更お知らせ
12月29日～1月3日

今年から市役所の年末年始の休日が12月29日から1月3日までの期間に変更となります。それに伴い、MOO4階に所在する釧路市体育協会事務局も、同期間を休日とさせていただきます。

編集後記



夏の甲子園。まれに見る「打高投低」の大会となった。ホームランは、個人記録も大会通算記録も更新された。コツコツ当てるのではなく、かつ飛ばせよう野球が威勢よく繰り広げられた▼食育の充実、筋力トレーニングの高度化、球速や変化球を自在に変えられる打撃練習用マシンの活用。この夏に備えて各チームは、打者に科学的なトレーニングを導入し、下位打線でもスイングがたくましく、打ち勝つための強化をしてきた▼孫子はかく言う。「先ず敵に負けない態勢を作れ。次に敵に勝てるチャンスを待て。負けない態勢を作るのは自分の問題だ。こちらが勝てる隙をつくるのは敵の問題だ。負ける原因は、自分の中にある。だから、負けないことは努力すれば作れる」▼魔物がいると言われる甲子園。不思議の負けは決してなく、必要なのは勝つための周到な準備。それは打撃か守備か精神力か? ▼来年は史上最多の56校が出場する第100回大会。現2年生の球児が中軸となって万全の備えで甲子園に臨み、さらに進化したプレーを繰り広げることとなる▼甲子園ファンとして、試合の結果のみならず、個々の選手の取組や成長ぶりなど、より深いスポーツの楽しみ方を探っていききたい。